

## 中国語における動作のイメージ

～『炒酸奶(炒めヨーグルト)』とは何か～

東京外国語大学 加藤晴子

### はじめに

イメージとは…何らかの刺激を受けて脳内に浮かぶ像。

「みがく」や「きる」という言葉を聞いて何をイメージするか。

### 中国語の動詞についての研究

相原茂 1990

中国語では、その動作が具体的にどのようなカタチを呈するのかを重視し、カタチが異なれば違った動詞を用意する傾向があります。(以下の例は相原1990のものを一部変更。)

#### 1. 日本語と中国語の動詞の違い

##### Aグループ

- ・黒板をけす 擦cā
- ・ペンキをぬる 擦cā
- ・窓をみがく 擦cā
- ・テーブルを ふく 擦cā

##### Bグループ

- ・紙をきる 剪jiǎn
- ・木をきる 砍kǎn
- ・野菜をきる 切qiē
- ・材木をきる 锯jù

Aグループは、日本語では別々の動詞、中国語ではすべて“擦cā”。

Bグループは、日本語ではすべて「きる」、中国語では別々の動詞。

→Aグループでは、日本語が細かく中国語が大雑把。

→Bグループでは日本語が大雑把で、中国語が細かい。

一見矛盾するようだが、大雑把にまとめて同じ動詞を使うのは、共通点があるため、細かく分けて別々の動詞を使うのは、相違点があるため。

##### A グループの共通点と相違点

共通点：体の前面で手を平面に沿って行き来させる見た目（イメージ）→中国語はここに注目。

相違点：消える、色がつく、きれいになる…などの出来上がり。

##### B グループの共通点と相違点

共通点：モノが二つ以上の部分に分離されるという出来上がり→日本語はここに注目。

相違点：手先で、全身で；上下に、前後に…などの動きの見た目（イメージ）。

中国語では、見た目が似ていれば出来上がりは気にせずにひとつ動詞でまとめる。

日本語では、出来上がりが似ていれば見た目は気にせずにひとつの動詞でまとめる。

## 2. 中国語の動詞は「見た目」が重要

### 他の動詞の例

❖ 「【日】大雑把・【中】細かい」の例

もつ

[両手ですくうように] もつ

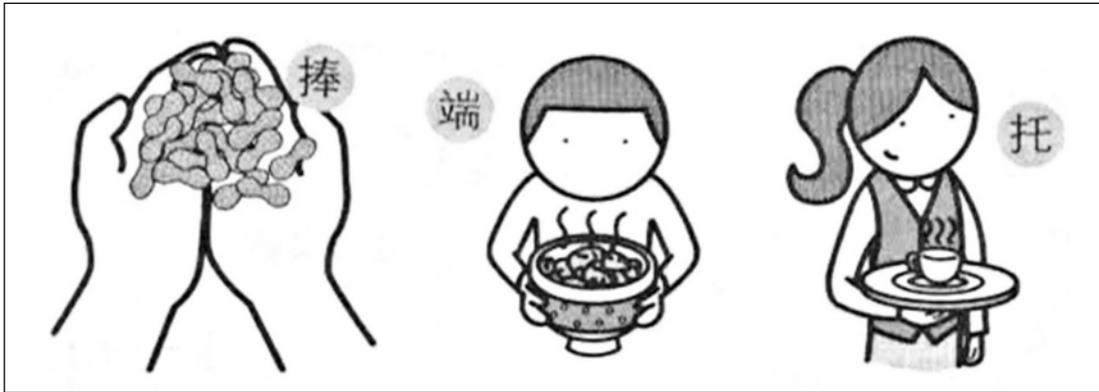
捧pěng

[お皿を水平に] もつ

端duān

[下から支えて] もつ

托tuō



[小学館『中日辞典』第3版p.1161より]

❖ 「【日】細かい【中】大雑把」の例

[ごみを] すてる

倒dào

[車を] バックさせる

倒dào

[茶を] 入れる

倒dào

[テープを] 巻き戻す

倒dào

[酒を] つぐ

倒dào

共通点：容器を逆さまにして中身を空ける，逆さまに進める。

[服を] きる

穿chuān

[ズボン，靴，靴下を] はく

穿chuān

[針に糸を] とおす

穿chuān

[穴を] あける

穿chuān

共通点：穴に通す，穴を通す。

ただし，中国語も日本語も，全ての動詞が皆そうであるわけではない。

中国語の“拿ná”は保持すること全般を表し，日本語の「つまむ」「かかえる」は，持ち方も表す。

### 料理動詞も…

木村英樹 2017

中国語の「料理動詞」は基本的なものだけでもざっと十数種類にのぼることを指摘。

おなじ「焼く」でも「直火で焼く」なら“烤kǎo”で，“鉄板や鍋の上で焼く”なら“煎jiān”です。〔中略〕細かな材料を「ひっかき回したり寄せ集めたりしながら焼く」場合は“炒

chǎo”になります。〔中略〕中国語の料理動詞はかくも細やかに使い分けられます。使い分けの要因は、道具、火加減、工程、時間、加熱媒体（水か油か直火か鉄板か）など多岐にわたりますが、注目すべきは、それらの要因のすべてがいずれも視覚に訴えやすいものばかり

〔後略〕

3. “炒酸奶（炒めヨーグルト）”とは



日本ではロールアイスと呼ばれるもの。  
 なぜ「炒めヨーグルト」なのか（アイスクリームからヨーグルトへの理由は今回は考えない）。

日本語の「炒める」と中国語の“炒chǎo”をまずは辞書で調べてみる。

**炒 chǎo** 一級 8  
 切り炒め。  
**動 1** <料理>炒める。いる。ㄑㄩˇ → ~菜。  
 ㄑㄩˇ ~鸡蛋 jīdàn / いら卵。スクランブルエッグ。ㄑㄩˇ ~肉丝 ròusī / 肉の千

小学館『中日辞典』第3版 p.197 より (2以下省略)

いた・める[炒める・燂める]《他下一》**文**いた・む(下二) 食品を少量の油を使って加熱・調理する。  
 い・る[炒る・煎る・熬る]《他五》水気のなくなるまで煮つめる。また、乾いたものを、土鍋などで熱する。

岩波書店『広辞苑』第六版 p.161 および p.207 より (原文は縦書き、用例省略)

日本語の「炒める」と「いる」は、食材に加熱することは共通で、油ありが「炒める」、水分なしが「いる」。

中国語の“炒”は日本語の「炒める」と全く同じなのか。

**炒 chǎo** **動 1** 烹调方法,把食物放在锅里加热并随时翻动使熟,炒菜时要先放些油: ~辣椒|~鸡蛋|糖~栗子|~花生。  
**動 1** 調理方法。食品を鍋に入れ、加熱しながら絶えず動かし、火を通す。炒め物をする時は、まず少量の油を入れる:唐辛子を~|卵を~|栗を甘く~|落花生を~。

商务印书馆《现代汉语词典》第7版 (2以下省略)

中国語の“炒”は、食材に加熱することを表し、油はある場合とない場合がある。→「炒める」

「いる」の両方に対応することを確認。

+絶えず動かす。→日本語の「炒める」や「いる」にない要素。

“炒酸奶”とは、「へら状のもので広げた食材を大きく掻き回しながら混ぜること」という動きの見た目に着目した呼び方ではないか→動画で確認。そのような説明をつけている動画もあり。

[https://www.iqiyi.com/v\\_21tus6p9aa8.html](https://www.iqiyi.com/v_21tus6p9aa8.html)

出来上がりにはこだわらないため，“炒酸奶”には、ロールしていないものも含まれる。



日本語の「ロールアイス」は、筒状に巻かれた、結果としての出来上がりの形状からの名づけ。中国語の“炒酸奶”は、材料をかき回したり広げたり寄せ集めたりする，作成過程の動きの見た目からの名づけ。

ただし“炒酸奶”という名前には中国語話者も意外性を感じさせる。→商品名としてのインパクト。

#### 4. おまけ：名詞の場合

名詞の場合，日本語は「見た目」（具体的），中国語は「中身」（抽象的）のようでもある。

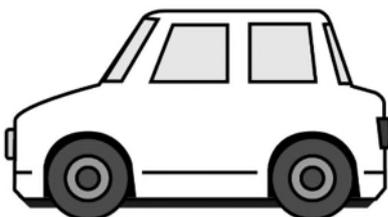
筆ふで（訓読み）



笔bǐ



車くるま（訓読み）



车chē





日本語

バス

電車

中国語

汽车qìchē  
ガソリンで走る

电车diànchē  
電気で走る

### おわりに

日本語は「出来上がり重視」、中国語は「動きの見た目重視」。どちらに注目するかは、世界の見方の違い。日本語だけ、中国語だけしか知らなければ、違いには気づけない。

- ▶ 新しい言語を学ぶことは、新しい世界の見方を知ること。
- ・ 漢字が同じだからといって、安心してはいけない。

### 参考文献

相原茂1990『はじめての中国語』講談社現代新書

加藤晴子2016「同じ世界の異なる見方」東京外国語大学言語文化学部編『言葉から社会を考える この時代に〈他者〉とどう向き合うか』白水社pp.106-109

木村英樹2017『中国語はじめの一歩〔新版〕』ちくま学芸文庫

### 資料

岩波書店2008『広辞苑』第六版（最新版は2018第七版）

北京商務印書館・小学館共同編集2016『中日辞典』第3版

商务印书馆2016《现代汉语词典》第7版

キャプチャー画像はいずれも <http://www.iqiyi.com>より

（閲覧日：2018/11/22, 2019/8/4, 2022/9/1）

その他、数種のフリー素材サイトを利用。